

## 平成19年度 白山こども文化センターの管理運営に対する評価について

### 1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	白山こども文化センターの管理運営に関すること 真福寺小学校・白山小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

### 2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	事業実施にあたっては、意見箱をこども文化センター、わくわくプラザに設置することにより、多くの利用者の意見を聞きながら展開した。乳幼児の保護者、小学生、小学生の保護者、中、高校生（音楽室）、運営協議会からの意見集約を実施した。白山地区の中のこども文化センターであることを意識しながら健全育成を通じて、学校、行政、地域との連携を実施した。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。提案箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供に関すること	乳幼児優先ルームのキッズルームにおいて、遊具や床の定期的に消毒を行い、衛生面に力を入れた。また、授乳コーナー設置等、環境改善に努めた。音楽室、キッズルームの専用ルームの利用可能状況を掲示板、ホームページにより情報提供した。こども文化センターの掲示板にカレンダーを貼りだし、事前の空き状況を告知した。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。授乳コーナーの設置や床・遊具の消毒などによる施設改善は評価できる。また、2つのクラブ活動を実施し、事業の充実に努めていた。音楽室の利用についても広報等を行い利用促進に努めていた。

事業の実施に関する こと	事業計画に基づき今年度から乳幼児事業『ぴよぴよ』を実施した。昨年度に比べて乳幼児の来館が増加した。心肺蘇生法、救急法などのセミナーは年間を通して約100人の参加を得た。音楽室の理解を深めるため、登録者対象に楽器講習会を実施した。運営協議会の協力を得て、「こ文まつり」には510人の参加があり、こども会議によるファッションショーも実現した。	運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。また、音楽室の管理を適切に行っていた。また、引き続き音楽室を活用した行事等も積極的に検討すること。今後も、ボランティアの活用に努めること。
個人情報取扱に関する こと	個人情報に記載してある書類を廃棄する際は、シュレッダーにかけ処理した。入館表、行事参加者名簿、音楽室登録者名簿等はファイルに閉じ、関係者以外の目に触れないよう施錠できる戸棚に保管した。職員全員が守秘義務を徹底した。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関する こと	毎朝職員全員での清掃と安全点検を実施した。点検チェック表を作成した事により、館長、職員、臨時職員全員が一定の意識を高める事が出来た。玄関のドアに、指はさみ防止のクッションを取り付け、乳幼児優先ルームに設置している長机にカバーをかけるなど、事故防止に努めた。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	延べ利用者数 23,789人 延べ団体利用数 3,143団体 (主な行事等) 遊びの広場(みんなの日) 白山こ文祭  (特色のある行事) ドラム教室	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 真福寺小学校わくわくプラザ 登録者数 184人 延べ利用者数 7,004人 (主な行事等) ラグビーの日 レターセット作り  (特色のある行事) ゾーマトロープ作り  2 白山小学校わくわくプラザ 登録者数 101人 延べ利用者数 4,463人 (主な行事等) サッカーの日 こいのぼり作り  (特色のある行事) 写真展	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																														
(3) 収支状況																																
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>43,069,527</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>36,474,335</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>2,559,360</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>43,993,529</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>▲ 924,002</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	43,069,527	支出	人件費	36,474,335		管理費	2,559,360		事務経費	1,937,847		その他経費	1,436,042		青少年事業資産取得支出	909,090		減価償却引当資産取得支出	40,492		第1回精算に伴う返納金	636,363		合計	43,993,529		差引	▲ 924,002	<p>単館では支出が上回ったが、55館全体での指定管理料内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p>
収入	指定管理料	43,069,527																														
支出	人件費	36,474,335																														
	管理費	2,559,360																														
	事務経費	1,937,847																														
	その他経費	1,436,042																														
	青少年事業資産取得支出	909,090																														
	減価償却引当資産取得支出	40,492																														
	第1回精算に伴う返納金	636,363																														
	合計	43,993,529																														
	差引	▲ 924,002																														

### 3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

### 4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。